

5 キャッシュ・フロー計算書について

本市下水道事業のキャッシュ・フロー計算書の状況は、次のとおりである。(単位:千円)

	平成29年度	平成28年度	増減額
1 業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益	352,035	338,712	13,323
減価償却費	3,401,669	3,344,614	57,055
退職給付引当金の増減額(△は減少)	13,059	25,673	△12,614
賞与引当金の増減額(△は減少)	85	2,572	△2,487
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,218	△468	△1,750
長期前受金戻入額	△1,354,788	△1,390,964	36,176
受取利息及び配当金	△7	0	△7
支払利息及び企業債取扱諸費	995,341	1,045,237	△49,896
固定資産除却損	23,931	113,390	△89,459
固定資産売却損益(△は益)	14	53	△39
未収金の増減額(△は増加)	△21,470	△56,678	35,208
未払金の増減額(△は減少)	118,435	43,669	74,766
預り金の増減額(△は減少)	20,291	△5,932	26,223
小計	3,546,377	3,459,878	86,499
利息及び配当金の受取額	7	0	7
支払利息及び企業債取扱諸費の支払額	△892,603	△1,045,237	152,634
業務活動によるキャッシュ・フロー	2,653,781	2,414,641	239,140
2 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△5,998,576	△5,775,263	△223,313
有形固定資産の売却による収入	22	31	△9
国庫補助金等による収入	2,200,887	1,797,592	403,295
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,797,667	△3,977,640	179,973
3 財務活動によるキャッシュ・フロー			
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	1,575,000	801,000	774,000
その他の企業債による収入	523,000	548,000	△25,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△2,680,165	△3,016,111	335,946
その他の企業債の償還による支出	△276,866	△438,033	161,167
企業債前借による収入	2,937,400	3,811,700	△874,300
建設改良費等の財源に充てるための他会計借入金による収入	500,000	0	500,000
他会計からの出資による収入	417,594	422,209	△4,615
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,995,963	2,128,765	867,198
資金増加額(又は減少額)	1,852,077	565,766	1,286,311
資金期首残高	623,216	57,450	565,766
資金期末残高	2,475,293	623,216	1,852,077

キャッシュ・フロー計算書では、決算対象期間における現金及び預金の増減状況が、3つの活動区分におけるキャッシュフロー(CF)で表される。

本年度の資金は前年度より約18億5,200万円増加している。

投資活動(固定資産の取得等)のための資金が本来の業務活動による資金に対して不足するので、財務活動(企業債借入等)による資金で調達している形となっている。